

学校教育目標	夢と希望に向かって「邁進」する西の台っ子の育成 ～チーム西の台 One for all, All for one～
育成を目指す資質・能力	確かな学力の育成

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <p>県学力調査(5年)で国語・算数・理科、全国学力調査(6年)で国語・算数・理科において県平均、全国平均を上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な問題については概ね定着している。 ・文章を書く力を付けていく必要がある。 	<p>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活・学習習慣は良好という児童が多かった。少数ではあるが改善が必要な児童もいるため、今後の課題としてとらえ、取り組んでいく。
	<p>これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「聴く」活動については94%以上の児童ができていますと回答したが、「話す」活動については86%とやや低い数値となっている(教職員アンケートも同様)。新型コロナウイルス感染症拡大の影響も考えられるが、今後工夫した取組が必要と考える。 ・「書く」活動については、記述式問題の正答率が低かったり、個人差が大きかったりするため、今後も記述力を高める工夫が必要である。 	
指導の状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の考え」「その根拠・理由」などパターンを決めて、「話す」活動・「書く」活動を学習活動の中に取り入れている。 ・既習事項を共有し、課題に対しての「考え」「学習の振り返り」を書く時間の保障を行っている。 ・ペア活動やグループ活動を効果的に取り入れ、考えを表現・交流する場の設定を行っている。 <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙を増やし、想像力を育むために読書時間の確保に努めている。音読ワーク「話す・聞くスキル」等の活用。 ・スピーチタイムを設定し、話す機会を持たせている。また、日記等書く活動を定期的に取り入れている。 ・基礎学力の定着のため、保護者と協力して毎日の家庭学習に取り組ませている。 	

学力に関する達成指標

- ・「授業が分かりやすく楽しい」と回答する児童を95%以上にする。
- ・単元末テストの上位層(90%以上)の割合を60%以上にする。

